

1 題材名 思考する私

2 題材の目標及び指導計画 (12時間扱い)

| 美術科 (2年〇組) | | 科目: 絵画 | 場所: 油絵室 | 指導者: | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---|---------|------|---|----------|-------|---|------------|-------|---|------|-----|---|------|-----|---|-------------|-----|
| 題材の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 油彩画の材料や用具の特性などを生かし、主体的に主題を生成したり、表現方法を工夫して表現したりしようとする。 (美術への関心・意欲・態度) ○ 主題に合わせて配色やマチエールなどの表現効果を確認め、創造的で個性豊かな表現の構想を練ることができる。 (発想や構想の能力) ○ 油絵の具の特性を生かし、主題に合わせて様々な用具を活用し表現方法を創意工夫して表現することができる。 (創造的な技能) ○ 自他の作品から、意図や表現の工夫などを感じ取り理解を深めることができる。 (鑑賞の能力) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指導計画 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 75%;">導入, 課題説明</td> <td style="width: 20%;">0.5時間</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>下図作成(デッサン)</td> <td>2.5時間</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>下地制作</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>描き込み</td> <td>6時間</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>まとめ, 鑑賞・講評会</td> <td>1時間</td> </tr> </table> | | | | 1 | 導入, 課題説明 | 0.5時間 | 2 | 下図作成(デッサン) | 2.5時間 | 3 | 下地制作 | 2時間 | 4 | 描き込み | 6時間 | 5 | まとめ, 鑑賞・講評会 | 1時間 |
| 1 | 導入, 課題説明 | 0.5時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 下図作成(デッサン) | 2.5時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 下地制作 | 2時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 描き込み | 6時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | まとめ, 鑑賞・講評会 | 1時間 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 準備資料 | 油絵の具, 画溶液, 筆洗, 筆, パレット, ペインティングナイフ, 木製パネル(B3), 刷毛, 丸皿, キャンバスクレパー, ゴムべら, ローラー, 耐水ペーパー, 木片, ウェス, 鏡, 木炭, 木炭紙, 練り消しゴム, ガーゼ, フィキサチーフ, カーボン紙, 参考資料, ノート, 筆記用具 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 学習内容及び活動 | 指導上の留意点 (◎評価) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 導入 | 1 課題把握 ・学習課題について知る。 ・主題を生成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自画像の表現について参考資料を基に確認し、自己の内面についてどのように表現するか考えながら、主題を生成するよう助言する。 ・ノートに主題と制作の計画について具体的に記述させ、見通しをもって制作することができるようにするとともに、本時の学びを次時に生かすことができるようにする。 ◎油彩画に関心をもち、自己の内面を見つめ、主体的に主題を生成しようとしている。 【美術への関心・意欲・態度】 (観察, ノート) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 展開 | 2 下図作成 ・木炭によるデッサンを行い、作品のイメージを固める。 3 下地制作 ・絵の具の練り込みを行い、油絵の具の特性を体感的に理解する。 ・主題に合わせて主調色を決定し、様々な用具や表現方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・表情やアングル, ポーズなどを工夫することで表現の幅が広がることを理解させる。 ・動静や比例, 量感や人体の構造などを捉え、じっくりと観察することで自己の内面に迫るスケッチができるよう促す。 ・骨格を意識して明暗の調子を整えるよう具体的に指摘する。 ・主題に合わせて効果的な配色を行い、固有色や概念的な色彩にとらわれない表現を目指すよう助言する。 ・油絵の具の魅力を感じ取らせ、粘りや艶, 透明感など絵の具の特性を生かしながら、効果的なマチエールの表現ができるようにする。 ・ドロッピングや研ぎ出しなど、イメージに合った表現方法や材料, 刷毛やナイフなどの用具の選択ができるよう参考資料を提示したり、実演を | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---|---|
| <p>を活用しながら下地を制作し、作品のイメージを膨らませる。</p> <p>4 描き込み</p> <p>・下図を写し、下地を生かした描写を行う。</p> <p>・人間の内面を意識し、固有色にとらわれない表現を試みる。</p> <p>展</p> <p>開</p> | <p>したりしながら、丁寧に説明する。</p> <p>◎油彩画の材料や用具の特性などを生かし、主体的に表現方法を工夫して表現しようとしている。</p> <p>【美術への関心・意欲・態度】（観察，対話）</p> <p>・制作の過程で表現を確認しながら、根気強く工夫・修正することができるよう助言し、新たなイメージが生まれてきた場合でも、更に膨らませていけるよう個に応じたアドバイスを行う。</p> <p>・描画に当たっては、背景との統一感をもたせるよう配慮させる。</p> <p>◎主題に合わせて配色やマチエールなどの表現効果を確認し、創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。</p> <p>【発想や構想の能力】（観察，対話，作品）</p> <p>・構想を練ることができない生徒には、主題を表現するための表現形式を確認し、対話をしながら具体的な構想について一緒に考える。</p> <p>◎油絵の具の特性を生かし、主題に合わせて様々な用具を活用し表現方法を創意工夫して表現している。</p> <p>【創造的な技能】（観察，対話，作品）</p> <p>・表現の工夫ができない生徒には、イメージに合うためには何が必要なのか具体的に考えさせ、参考資料の提示や実演を行い、共に考えながら支援する。</p> |
| <p>5 鑑賞・講評会</p> <p>・作品について自己評価を行う。</p> <p>・友人同士で相互に鑑賞し、制作意図を発表、講評会を行う。</p> <p>ま</p> <p>と</p> <p>め</p> | <p>・ノートに自己の作品について振り返らせ、自己評価と今後の課題について考えさせる。</p> <p>・相互に鑑賞することで互いの創意工夫を感じ取らせ、次の作品に生かすよう促す。</p> <p>◎自他の作品から、意図や表現の工夫などを感じ取り理解を深めている。</p> <p>【鑑賞の能力】（観察，対話，ノート）</p> <p>・鑑賞が深まらない生徒には、具体的な部分について発言させたり、形や色彩、構図などの視点を明確にして考えさせたりしながら鑑賞を進めることができるようにする。</p> |